

## 防護委員会

日本医学物理学会 会長 殿

平成 24(2012)年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 赤羽 恵一

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	赤羽恵一◎、大谷浩樹、唐澤久美子、小泉雅彦、西川慶一、芳賀昭弘、丸橋 晃、盛武 敬、米内俊祐、小口 宏
今年度課題	1. 情報共有 放射線防護に関する情報を収集・共有する。 2. 広報活動 放射線防護に関する情報を発信する。 3. 対外協力 放射線防護に係わる他組織と協力し、医療放射線防護活動推進に寄与する。
委員会開催 履歴	4月14日 於:パシフィコ横浜 出席8名 9月14日 於:つくば国際会議場 出席7名
総括 不足の場合は別紙付加可	1. 情報共有:委員会等で、放射線防護に関する情報を共有し、問題等の議論を継続した。 2. 広報活動:放射線防護に関する情報発信について議論を継続した。 3. 対外協力:「クリアランスおよび放射化物に関する医療関係学会等団体合同ワーキンググループ」に、JSMPからの参加として、防護委員会メンバーが参加してきた。2012年7月10日に「放射線治療装置における放射化物の管理に関する学会標準(ドラフト版)」が公開された。2012年8月1日に出された、JSMP・JSRT・JASTRO 共同の「粒子線治療施設における放射化物の取扱いに関するガイドライン」取りまとめにもメンバーを出した。また、医療被ばく研究情報ネットワーク(J-RIME)の全体会議に、JSMP 防護委員会として出席した。福島への対応は、福島事故対応アドホック委員会の活動をベースに、2年後の状況を踏まえた対応を検討中である。